

環境疫学フォーラム（第1回）開催案内

環境要因が人口集団に与える影響を解明するという疫学研究の本来の目的と共に、環境疫学は大気汚染物質や各種環境汚染物質の健康影響について、その有害性の同定や曝露量－反応関係の推定などに関する科学的知見を提示することによって、それらの知見が環境基準設定などの行政施策立案の根拠となるなど、規制科学としての側面を強く持っている。

本フォーラムでは、環境疫学に携わる研究者だけではなく、環境疫学と接点を持つ分野の研究者や環境疫学からの知見を取り扱う行政に関わる方々などの幅広いご参加をいただき、環境疫学について議論を進めていく場を提供したい。

主催：独立行政法人国立環境研究所 環境健康研究センター

共催：慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室

日時：2014年7月26日（土）14:00～17:00

会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス 予防医学校舎

(<http://www.sc.keio.ac.jp/campus.html> の35番建物)

プログラム

1. 環境問題を研究する科学者の社会的責務

山崎 新（京都大学医学研究科社会健康医学系専攻医療疫学分野）

2. 環境疫学研究における化学物質曝露評価の現状と課題

中山祥嗣（国立環境研究所環境健康研究センター総合影響研究室）

3. 総合討論「環境疫学への期待と課題」

指定討論者：

武林 亨（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

玉腰暁子（北海道大学大学院医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野）

（参加申込み）

参加を希望する方は、所属、氏名、電話番号、メールアドレスを明記し、【環境疫学フォーラム参加希望】というタイトルで、下記連絡先までメールでお申し込みください。参加費は無料です。

（連絡先）

独立行政法人国立環境研究所 環境健康研究センター 新田 裕史

E-mail: envepi@nies.go.jp

Tel:029-850-2336